

# 今年度を振り返り、つな若の仕事の中で印象的だったことは？



## 田中さんより

今年度、注力した活動として、インケア中の中高生を中心とした各施設との交流事業、また就労支援の担当を置いて企業のみならずとも交流を持たせていただいたことが特に印象に残っています。いずれも、「交流」がキーワードになった取り組みです。交流事業では、施設のアフター担当の先生方が、ご本人とつな若の両者を知っていてお繋ぎくださることで、ご本人の中でつな若との距離を少しずつ近づけてくださる様子が見て取れて、とてもありがたく感じました。また、企業の方々とご一緒させていただく中では、業務のご苦労や想いを直に聞かせていただき、「こういう方がこの業種に向いているのかもしれないですね」というように、具体的なイメージを持ってすり合わせながらお話しができました。

「百聞は一見にしかず」お会いしてお話しできることで、お互いの役割を安心して伸ばし合い、重なり合って取り組むことができることを実感しました。今後も、ひとつひとつの出会いを大事に、そして相手の土俵に積極的に出向いて交流し、取り組んでいくことを大事にしていきたいです。

## 北之防さんより

つな若に派遣になって2年目になりました。1年目はコージータウンで、相談支援コーディネーターとは何をしたらいいのかわからない中、見よう見まねで過ごしていた1年でした。2年目はマザーボードに異動になり、またまた初めましての若者たちと顔を合わせ、たくさんの方のお力をお借りしながら、相談支援をしてきました。たくさんの方の行政の方や関係機関の方と出会ってまだ知らないことがたくさんあることを実感しました。

若者と接する中で、居場所事業として取り組んでいるつな若キッチン、つな若ダイニングを通じて食の大事さだけでなく、そういった時間の共有の中だからこそ知れる若者の一面がたくさんあることを知りました。

また、簡単ではあるものの誕生日用のデザートを用意してお祝いすることで見られる若者の笑顔。大切な時間の共有ができたように思います。

施設にいる子に、この2年の兼務で学んだ退所後もつながれる先があること、つながれる大人を見つけることの大切さを引き続き伝えていけたらと思います。



# つながり若者センター通信

2025

11号

3月発行



おめでたいこと、とても嬉しいこと、そして一方、災害や戦争などつらいこと…、一年を振り返るとき、毎回さまざまな出来事を思います。私たち人間はとても小さな存在で、いつも大きな出来事に翻弄されながら、それでもそれぞれの毎日をそれぞれ精一杯生きています。私たちにとって若者たちとの時間は「普通」の日常の共有です。でも彼らに突然の困難や災難が降りかかったとき、いかに迅速に、彼らのしんどさや福祉ニーズを考慮した適切な支援ができるか、そういったことを普段から意識してそばにいたいと思っています。まずは、お互いに、この世界に生きる小さな存在同士、ということをしつかり心に留めながら…。

今年度も本当にありがとうございました。

つながり若者センター センター長 中島 円実

連絡先 つながり若者センター（滋賀県地域養護推進協議会）

▶マザーボード  
守山市守山6丁目10-68  
TEL: 077-582-2221 FAX: 077-582-2330

▶コージータウン  
彦根市大東町2-28 アル・プラザ彦根内  
TEL: 0749-21-6370 FAX: 0749-21-6205



※つながり若者センターのホームページです。



# 活動報告

# つな若のイベント



## 最近の他機関との連携



令和7年1月22日、滋賀県立長寿社会福祉センターにて京都市ユースサービス協会の竹田明子さまをお招きし、「若者の自立支援について考える研修会」を開催しました。様々な機関、団体より40名の方にご参加いただき、大変有意義な場となりました。京都市ユースサービス協会は京都市で若者の居場所づくりや相談支援などに長年取り組んでこられた団体です。

まず竹田さまより日頃の実践報告をしていただき、その後は若者の自立について公開ディスカッションを行いました。登壇者だけでなく、会場の皆様にも話をして頂きました。参加者の皆さんからは、「18歳を超えた若者の支援って難しいと感じました」「若者が誰かの役に立てたという実感が持てたら」などのご感想やご意見を頂き、若者たちを支える地域のネットワークの重要性を実感しました。

今後も京都市ユースサービス協会をはじめ、地域の皆様とのつながりを大事にして、日々の相談支援に取り組んでいきたいと思えます。



## コージータウン

12月には、コージータウンにて居場所活動のプレイベントを開催しました。県内施設の高校生を対象に、コージータウンの居場所活動とコージータウンカフェについて知ってもらうイベントです。

4名の高校生の参加があり、真剣に説明を聞いてくれる姿や、最初は緊張していたけど、雑談やボードゲームを交えて次第にスタッフとの仲を深めていく姿がとても印象に残っています。

お昼になると、みんなでコージータウンカフェで昼食を食べました。他ではなかなか見ることが出来ない豆乳ラーメンやボリュームたっぷりのソーセージカレーなど、思い思いの食べたいものを、みんなでワイワイしながら頂きました。

今回のイベントを踏まえて、つながり若者センターのことを、気軽に相談できる、身近な場所だと感じてくれればと思います。



## 居場所活動

コージータウン

1 秋のおでかけイベントでの交わりが、日々の活動の中にもじんわりと馴染んできたなと感じています。思い思いに過ごすことに加え、新しいゲームを「やってみる?」の声掛けに、困ってくれる若者の顔触れが1人2人と増えているのがうれしいこの頃です。

2 コージータウン内で急ぎの発送作業があり、若者たちへ助けを求めたところ、若者が何人か快く応じてくれました。人の手が複数あると、そうした作業はとてもしゃります。作業に没頭した後は、「疲れたね」と言い合いながらゆったりと過ごしていただきました。



マザーボード

スタッフが夕食を用意し若者と一緒に食事をするつな若ダイニングと、地域の調理室などを会場に、若者数人と一緒に調理して食事をするつな若キッチンを開催しました。季節やイベントに合わせたメニューや、若者



リクエストのメニューを中心に開催し、調理や食事を通して若者と生活や仕事のことなどたくさん話ができて、良い時間の共有ができました。



## マザーボード

子ども若者、そして各施設の自立支援コーディネーターさんをはじめとした施設職員さんとインケア中から交流をしています。

学園祭やXmas会での出し物を見て感想を伝えつつ挨拶させてもらったり、進路会議にて学校の先生も交えて退園後の生活について話しあったり。あるいは、つな若キッチンなどの居場所事業をインケア中の子ども若者向けに開催をして参加してもらったり、テーマ別学習会を設定をして一緒に受講したり…4月~12月末まででインケア中の中高生たち104名(延べ人数)、施設職員さん207名(延べ人数)と交流することができました。早めに知り合う機会を今後も作っていくことで、施設以外にも相談先を増やせたらと思っています。

